

水戸・偕楽園散策報告（平成 31 年 03 月 02 日(土)）

昨年 3 月にも 2 回計画したが、いずれも雨のために流れてしまった。丁度運悪くと云うか運良くと云うか、3 月 3 日に計画していた「四阿山山行」が、参加者が少ないために中止になってしまったので、急遽 2 日（土）に「水戸・偕楽園」へ観梅に行こうと計画して、皆様にご案内したところ、なんと 7 名の方が名乗りを挙げてくれた。偕楽園は今年の秋から有料になるので、その前に行っておこうという、せこい考えもあったが。参加者は伊藤（L）、荻野、神田（玲）、早坂、三浦、陽田、三浦さんの引きによる女性ゲストの 7 名である。

リーダーとしていやでも頑張らなければと頑張った結果、“晴れ男”の“あ組”のお二人がいないにもかかわらず、前後の数日々は雨になったけれども、当 2 日のみ快晴の上天気になった（これは内緒のお話ですけど、聞くは笑い、語るは涙でここ数日はねじり鉢巻きでお祈りをしていたのですよ。）。今年は“雨男”を返上して“晴れ男”が続くよう気張ります。

日暮里 8 時 06 分発の常磐線快速の前の方に乗車することにしていた。日暮里駅ホームに着くとアナウンスで「前 5 輜は土浦止りです」と放送している。おやおやと思っていると、メールで陽田さんから「9 号目の車輜に乗っています」との連絡が来た。それで一旦乗車して次の駅でホームへ出てから 9 号車へ移動して、荻野、神田、陽田さんの上野駅からの乗車組と合流できた。前の車輜には三浦さん、早坂さんは乗っていなかったの、どうしたのかなと思っていると、三浦さんから「先行した電車で行くので、偕楽園入口で待ちます」というメールが入った。また、そのうち早坂さんから「今、荒川土手駅にいます」との連絡が来て、既に先行しており一応全員の所在が判明した。（ゲストの方は多分三浦さんとご一緒なのであろう。）

JR は大サービスで梅の季節の土日曜・祝日のみ“水戸偕楽園前駅”に臨時停車してくれる（JR の隠れた顧問として鼻が高い！）。駅ホームでは列車から降りた大勢の観梅客で大混雑。10 時、偕楽園前で三浦、早坂さんらが待っていてくれたので、ここで無事全員集合した。

早速、目の前の石段を登り「常盤神社」を目指す。「常盤神社」は菊の御紋と葵の紋を持つ「別格官幣社」で 2 代光圀公と 9 代斉昭公を祀っている。どうも光圀公も斉昭公も“悪いこともやっていた”と評判が良くない面もある。まあ斉昭公は全員一致するだろうが、光圀公は TV 映画の影響もあり、“良い人”と思う方が普通だろうか。神社祭壇の前はきばってお賽銭を上げようという善男善女で大行列ができていた。我々は脇からお参りだけ（お賽銭はなし）して引き上げた。

「東門」から偕楽園に入る。入るとすぐ、仮設テントの下で大勢の人達が座って待っている。何だろうと思うと、「全国梅酒まつり in 水戸」で、今や遅しと梅酒の“きき酒”をしようとしている人達だった。これは有料でどこかで券を購入してこなければならぬらしい。園内には「梅まつり」を盛り上げるために、サポートする大勢の人達が緑色の揃いの法被姿で観光客にサービスしている。肝心の梅の花は早咲き、遅咲きがあるが、全体としては少し早い感じだ、しかし十分楽しめるものであり、青空の下で花が映えていた。

梅の花と共に偕楽園の目玉の「好文亭」は斉昭公創建の建築で優雅さがただようが、なにせ人が多く中に入って見るには行列に並んで待たなければならないので、パスすることにした（実は入館料 ¥200 円が惜しかったのかな。以前大宮の盆栽展に行ったときにも同じようなことがあったっけ。）。それで、庭の方に回る。あちこちにボランティアガイドさんに説明を受けているグループがいたりしたが、こちらは園内の小道を逍遥する。梅は良い香りがするはずだが、あまり感じられなかったのは残念だ。木は若木も少しあるが、全体に古木が多く、幹が二つに割れていたりしている。しかし幸いなことに苔などの寄生植物が付着している木はほとんど無かった。

ぐるぐる歩いて「表門」（正式な入口）の近くへ出たが、ここを見逃してしまった。孟宗竹林脇を通過して園から出て下って行く。途中「吐玉泉」と云う湧水があり、真っ白な大理石様の石の中央から水が出ていた。更に下ると池があり、丁度そこで“内裏雛様”の紙人形を流す「五軒香梅雛流し」（本日だけ）の行事が行われていた。これは一般の人が雛形を買って（売上金は寄附される）池に浮かべるのである。また池の中にはお内裏様の 100cm 位の舟と宝物を乗せた 60cm 位の舟を浮かべていた。

線路を渡る陸橋を越えて、「偕楽園公園」へ行く。11 時 20 分になっていたの、その梅の木の下におなじみブルーシートを広げて昼食とする。昼食を持っていない人もあり、近くのテントの出店に買いに出かけた。とにかく青空で梅の香りの下での食事はうまい。腹がくちくちになると眠くなってきた。シートに横になって寝たいくらいだ。三浦さんはカメラを持って歩き回っている。またゲストの福田さんは用事があるとかで帰っていった。

12 時 35 分、片付けて出発。更に南の「窈窕梅林」を通り、「千波湖」を目指す。湖畔に「徳川光圀像」が立っていたので、像の下で写真を撮ってもらった。「千波湖」南岸を歩く。中央に噴水があるはずだが、水は出ていなかった。残念。湖尻から川沿いに下り、水戸駅を目指す。14 時少し前に駅に着いたが、早過ぎて適当な居酒屋は開いていない、それでお土産を調達した後、14 時 30 分の電車に乗り、新宿で探すことにした。ホームで電車を待っていると、向かい側のホームに、神田さんの娘さん夫婦が二人の子供を連れて帰りの電車を待っていた。何たる偶然、否必然か、神田さんは今日娘さん夫婦が偕楽園に来ることは知っていたそうだから。お互い、小さな子供も手を振って別れた。電車の中では約 2 時間ぐっすり眠ったのは云うまでもない。

新宿駅に 17 時に着き、「魚や 一丁」で反省会となった。今日も早坂さんの“病院食の極刻み”の話が出た。歯の良い人でも誤嚥防止のために“ぐちゃぐちゃ”の料理を食べなければならないらしい、味も分からなくなり気の毒だと思う。三浦さんの“枅酒”では、枅の角に塩を盛って飲む話。「ところで今日は塩を盛ってない！」「しょう（塩）が無いよ」。また水戸は今「あんこう鍋」の季節です、今度は是非あんこう鍋を食べましょう、など食べ物のお話が多くて困ります。山の話はあまり出てきませんでした。また「大人の休日倶楽部」のカードで自販機での買い方の実地指導をしました。

来週 6 日（水）の例会は、17 時 30 分からですから、皆さんお忘れなくお集り下さい。宜しくお願いします。

（伊藤）